



清瀬市告示第**14 0**号

令和2年度下半期(10月～3月)における清瀬市財政状況の公表について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第1項、清瀬市財政状況の公表に関する条例(昭和39年清瀬町条例第17号)及び地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2の規定に基づき、令和2年10月1日から令和3年3月31日までの財政状況を次のとおり公表する。

令和3年5月**2 1**日

清瀬市長 渋谷 金太郎

記

- 1 財政状況 別紙のとおり

はじめに

清瀬市は、財政状況について市民の皆様にお知らせするため、市の財政状況を毎年2回(5月・11月)定例的に公表しています。

これは、地方自治法第243条の3第1項、清瀬市財政状況の公表に関する条例及び地方公営企業法第40条の2(昭和27年法律第292号)に基づくものです。

今回は、令和2年度下半期(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)の財政運営の状況をご報告します。

第1 令和2年度 下半期財政運営状況

令和2年度の当初予算は、一般会計と特別会計(下水道事業会計除く。)を合わせた総額は、50,621,968千円で、9月までに一般会計、特別会計において、総計10,035,126千円増額する補正を行い、第1表 令和2年度 会計別予算現額における9月末予算額現額の60,657,094千円となりました。

その後3月末までに1,088,650千円増額する補正を組んだことにより、第1表のとおり最終予算額は、61,745,744千円となっています。

第1表 令和2年度 会計別予算現額

(単位：千円)				
会計別		9 月 末 予 算 現 額	補 正 予 算 額	最 終 予 算 額
一 般 会 計		43,517,215	971,565	44,488,780
特別会計	国民健康保険事業	8,117,494	0	8,117,494
	駐 車 場 事 業	81,966	2,148	84,114
	介 護 保 険	6,876,679	114,937	6,991,616
	後 期 高 齢 者 医 療	2,063,740	0	2,063,740
	特 別 会 計 計	17,139,879	117,085	17,256,964
合 計		60,657,094	1,088,650	61,745,744

1. 一般会計

一般会計は、市の大部分の行政に要する一般的な収支を経理するもので、福祉や教育、道路建設など市政の基本となる施策を執行するために必要な経費を計上した会計です。

一般会計の財源は、前年度からの明許繰越額及び通次繰越額を含め、市民の皆様から納めていただく市税を中心に地方交付税、国・都支出金、市債などで構成されています。

令和2年度の当初予算額は、33,787,968 千円で、前年度比で 9.8%の増額となりました。

なお、予算重点項目は下記のとおりです。

- 安全・安心に生活できるまち
- ともに支え合って生活するまち
- 健幸で笑顔あふれるまち
- 安心して子どもを産み育てられるまち
- 子どもが生きる力・考える力を身につけられるまち
- 快適で住みやすいまち
- 豊かな自然と調和した環境にやさしいまち
- 産業によってにぎわいや活気を生み出すまち
- 健全な行財政の確立
- 新庁舎建設に向けた取り組み
- 市制施行 50 周年記念に向けた取り組み

その後、補正予算により新型コロナウイルス感染症対策事業、戸籍住民基本台帳事務事業、緑地整備事業などが追加計上され、最終予算額は 44,488,780 千円となっています。

なお、一般会計歳入予算構成比は第 1 図、収入状況等は、第 2 図及び第 2 表のとおりです。

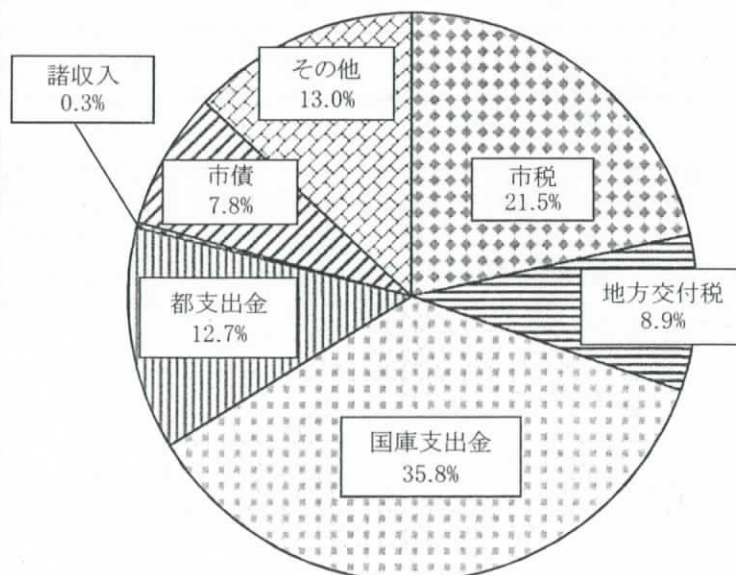
歳入

令和3年3月31日現在の収入済額は、39,323,750千円で収入率88.4%となっています。
 なお、令和2年度の一般会計予算構成比は第1図、収入状況等は、第2図及び第2表のとおりです。

(単位:百万円,%)

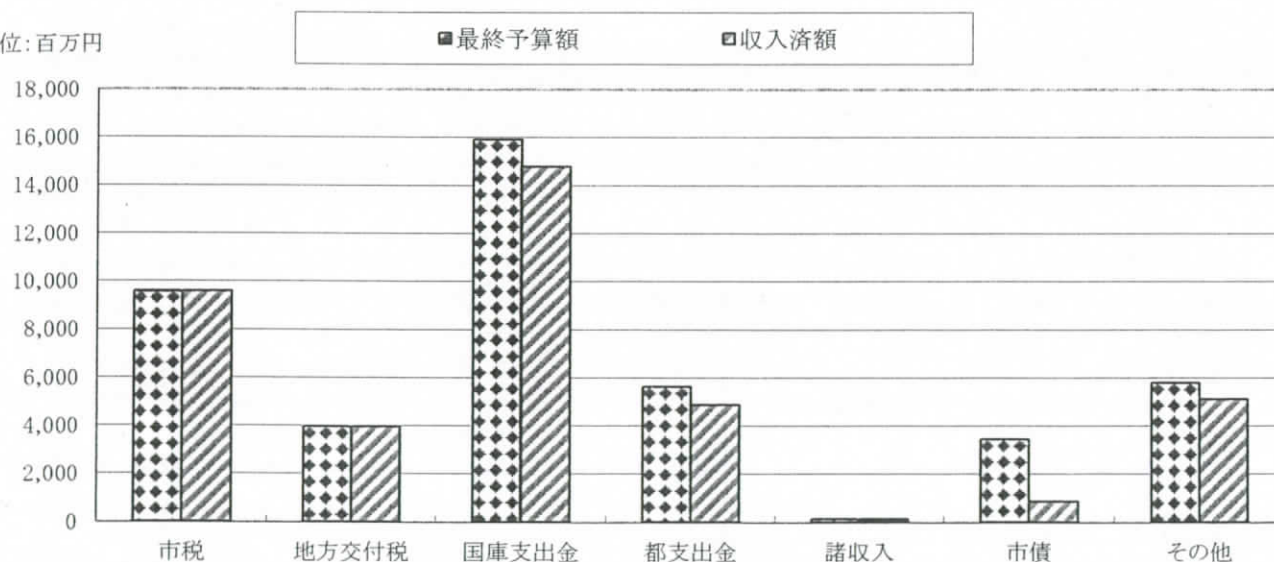
款	金額	構成比
市税	9,574	21.5
地方交付税	3,968	8.9
国庫支出金	15,917	35.8
都支出金	5,632	12.7
諸収入	139	0.3
市債	3,461	7.8
その他	5,798	13.0
合計	44,489	100.0

第1図 令和2年度一般会計歳入予算構成比



第2図 歳入予算の状況

単位:百万円



	市税	地方交付税	国庫支出金	都支出金	諸収入	市債	その他
最終予算額	9,574	3,968	15,917	5,632	139	3,461	5,798
収入済額	9,599	3,958	14,775	4,875	129	861	5,127

第2表 歳入予算額及び収入済額

令和3年3月31日現在 (単位:千円、%)

款	9月 予算 額	補正額	最終 予算 額	収入済額	予算との 比較	収入率
1 市 税	9,574,315	0	9,574,315	9,599,300	24,985	100.3
2 地 方 譲 与 税	128,000	0	128,000	80,802	▲ 47,198	63.1
3 利 子 割 交 付 金	14,000	0	14,000	10,876	▲ 3,124	77.7
4 配 当 割 交 付 金	72,000	0	72,000	24,273	▲ 47,727	33.7
5 株式等譲渡所得割交付金	40,000	0	40,000	0	▲ 40,000	0.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	17,000	0	17,000	14,239	▲ 2,761	83.8
7 地方消費税交付金	1,629,000	0	1,629,000	1,520,325	▲ 108,675	93.3
8 環境性能割交付金	30,004	0	30,004	12,970	▲ 17,034	43.2
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	37,000	0	37,000	40,477	3,477	109.4
10 地方特例交付金	88,779	0	88,779	88,779	0	100.0
11 地 方 交 付 税	3,967,734	0	3,967,734	3,958,466	▲ 9,268	99.8
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,000	0	6,000	6,600	600	110.0
13 分担金及び負担金	117,074	4,468	121,542	112,257	▲ 9,285	92.4
14 使用料及び手数料	408,481	0	408,481	383,619	▲ 24,862	93.9
15 国 庫 支 出 金	15,286,587	630,417	15,917,004	14,774,730	▲ 1,142,274	92.8
16 都 支 出 金	5,498,915	133,419	5,632,334	4,874,990	▲ 757,344	86.6
17 財 産 収 入	30,458	▲ 15,027	15,431	27,392	11,961	177.5
18 寄 附 金	5,601	10,428	16,029	18,884	2,855	117.8
19 繰 入 金	2,335,600	104,260	2,439,860	2,051,142	▲ 388,718	84.1
20 繰 越 金	733,699	0	733,699	733,700	1	100.0
21 諸 収 入	140,968	▲ 1,500	139,468	128,929	▲ 10,539	92.4
22 市 債	3,356,000	105,100	3,461,100	861,000	▲ 2,600,100	24.9
歳 入 合 計	43,517,215	971,565	44,488,780	39,323,750	▲ 5,165,030	88.4

歳 出

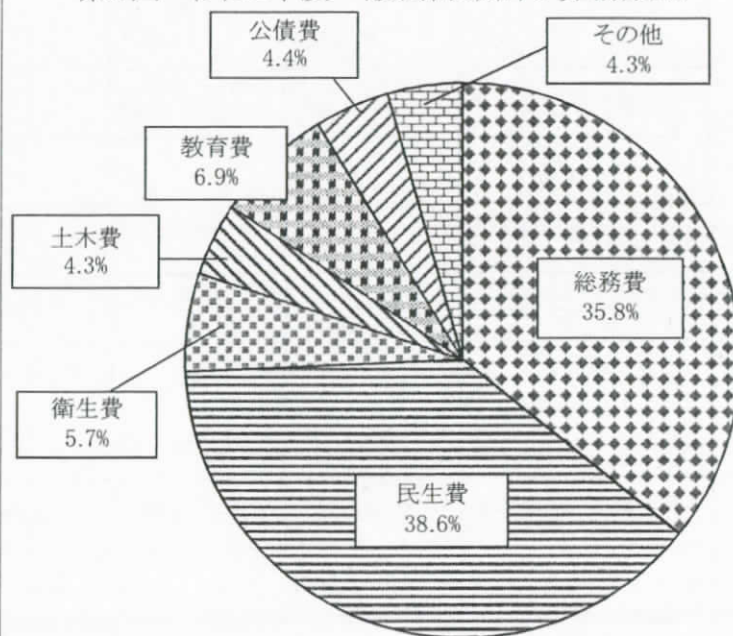
令和3年3月31日現在の支出済額は、39,722,149千円で執行率は89.3%となっています。

なお、令和2年度の一般会計予算構成比は第3図、執行状況の内訳は第3表及び第4図のとおりです。

(単位:百万円,%)

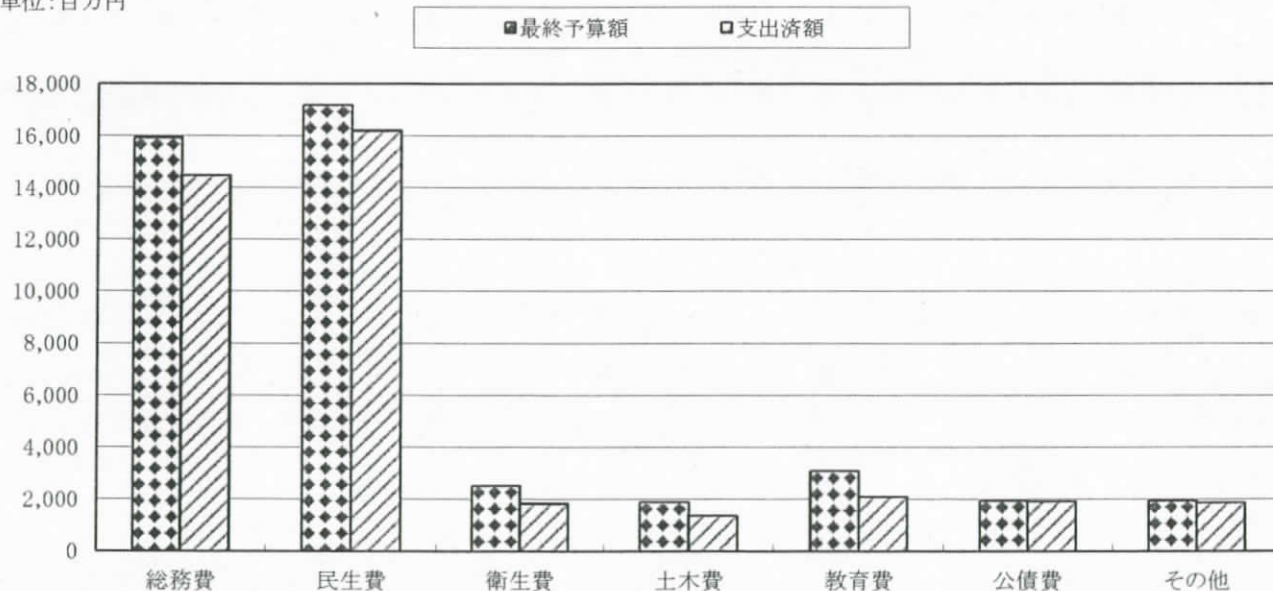
款	金額	構成比
総務費	15,919	35.8
民生費	17,172	38.6
衛生費	2,518	5.7
土木費	1,896	4.3
教育費	3,079	6.9
公債費	1,950	4.4
その他	1,955	4.3
合 計	44,489	100.0

第3図 令和2年度一般会計歳出予算構成比



第4図 歳出予算の状況

単位:百万円



	総務費	民生費	衛生費	土木費	教育費	公債費	その他
最終予算額	15,919	17,172	2,518	1,896	3,079	1,950	1,955
支出済額	14,460	16,195	1,829	1,359	2,088	1,914	1,877

第3表 歳出予算額及び支出済額

令和3年3月31日現在 (単位:千円、%)

款	9月 予算額	補正額 (充用額)	最終 予算額	支出済額	予算残額	執行率
1 議会費	300,969	0	300,969	291,640	9,329	96.9
2 総務費	15,806,322	113,127	15,919,449	14,459,835	1,459,614	90.8
3 民生費	17,066,973	105,016	17,171,989	16,194,782	977,207	94.3
4 衛生費	1,925,601	592,516	2,518,117	1,828,570	689,547	72.6
5 労働費	6,371	0	6,371	5,351	1,020	84.0
6 農林業費	75,290	0	75,290	69,936	5,354	92.9
7 商工費	92,088	0	92,088	78,080	14,008	84.8
8 土木費	1,843,090	53,328	1,896,418	1,359,252	537,166	71.7
9 消防費	1,003,155	7,947	1,011,102	977,647	33,455	96.7
10 教育費	3,070,985	7,903	3,078,888	2,088,360	990,528	67.8
11 公債費	1,949,914	0	1,949,914	1,913,507	36,407	98.1
12 諸支出金	360,471	94,728	455,199	455,189	10	100.0
13 予備費	15,986	▲ 3,000	12,986	0	12,986	0.0
歳出合計	43,517,215	971,565	44,488,780	39,722,149	4,766,631	89.3

2. 特別会計

特別会計とは、特定の事業の資金を一般会計と区分して経理するために設けられる会計で、経理の内容を明確にし、行政の効率的運営を図るものです。

清瀬市の特別会計は、国民健康保険事業、下水道事業、駐車場事業、介護保険及び後期高齢者医療があります。

(1) 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険は、医療費の負担を軽減するために、保険加入者が保険料を出し合い、病気やけがをした時の医療費に充てようという相互扶助を目的としたものです。現在、会社等の各種保険に加入していない人は、国民健康保険に加入しなければなりません。

令和2年度最終予算額は 8,117,494 千円で、収入済額は 7,192,288 千円(収入率 88.6%)、支出済額は 7,225,598 千円(執行率 89.0%)となっていますが、高齢化社会への移行や医療費の増加等により、国民健康保険の運営が非常に厳しいものとなっており、一般会計からの繰入金の最終予算額は 797,495 千円となっています。

なお、執行状況は第 4 表及び第 5 図のとおりです。

(2) 下水道事業会計

清瀬市では、市民の皆様に快適な生活を営んでいただくため、公共下水道の普及促進を図っています。平成 30 年度より公営企業会計へ移行しました。財政状況等については、17 ページに記載のとおりです。

(3) 駐車場事業特別会計

市の表玄関としての機能整備、商業の活性化及びショッピング街の形成には駐車場の整備が必要です。そのため、平成 7 年度に駐車場の整備とあわせて特別会計を設置し、地域経済の振興に努めております。

令和2年度最終予算額は 84,114 千円で、収入済額は 55,966 千円(収入率 66.5%)、支出済額は 43,189 千円(執行率 51.3%)となっています。

なお、執行状況は第 5 表及び第 6 図のとおりです。

(4) 介護保険特別会計

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった市民が、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護に関する福祉サービスと医療サービスを総合的・一体的に提供するために設けられた介護保険制度

の実施に伴い、介護保険法第3条の規定に基づき、平成12年度に設置した特別会計です。また、平成18年度からは、介護保険制度の改正により、地域支援事業も実施しております。地域支援事業は、主に生活機能が低下している高齢者を対象として介護予防事業を行い、合わせて地域包括支援センター事業により様々な事業を展開しています。

令和2年度最終予算額は6,991,616千円で、収入済額6,984,477千円(収入率99.9%)、支出済額6,262,507千円(執行率89.6%)です。

なお、執行状況は第6表及び第7図のとおりです。

(5) 後期高齢者医療特別会計

心身の特質が若者や壮年とは異なり、病気に罹る確率も高まってくる75歳以上の市民に対し全体的に十分な医療を行い、また、かかりつけの医師が高齢者の方々を全体的にケアするような仕組みを作り、地域全体で医療の力を高めてゆく制度です。持続可能な保険のシステムを作るため、公費5割と現役世代からの仕送り4割の計9割の仕送りでしっかり支える仕組みとなっております。この特別会計は、平成20年度に設置されました。

令和2年度最終予算額は2,063,740千円で、収入済額は1,981,188千円(収入率96.0%)、支出済額は1,980,604千円(執行率96.0)となっております。

なお、執行状況は第7表及び第8図のとおりです。

第4表 国民健康保険事業特別会計執行状況

<歳入>

令和3年3月31日現在

(単位:千円、%)

款	9月末日 予算現額	補正額	最終 予算額	収入済額	予算との 比較	収入率
1 国民健康保険税	1,348,306	0	1,348,306	1,297,579	▲ 50,727	96.2
2 一部負担金	1	0	1	0	▲ 1	0.0
3 国庫支出金	234	0	234	13,971	13,737	5,970.5
4 都支出金	5,575,729	0	5,575,729	4,711,869	▲ 863,860	84.5
5 財産収入	10	0	10	0	▲ 10	0.0
6 繰入金	1,075,072	0	1,075,072	1,043,430	▲ 31,642	97.1
7 繰越金	104,135	0	104,135	104,134	▲ 1	100.0
8 諸収入	14,007	0	14,007	21,305	7,298	152.1
歳入合計	8,117,494	0	8,117,494	7,192,288	▲ 925,206	88.6

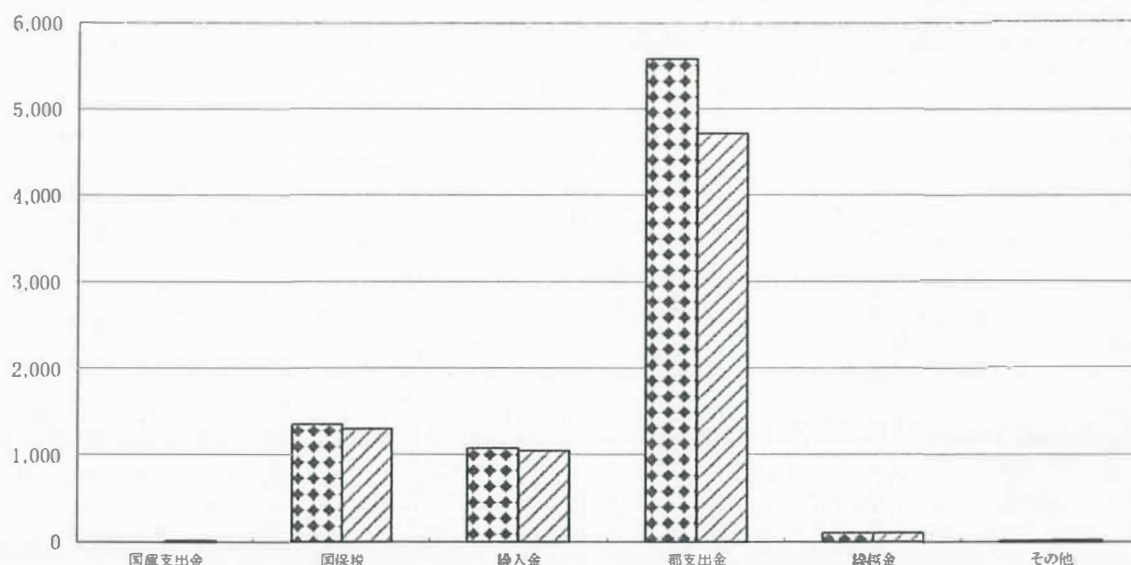
<歳出>

款	9月末日 予算現額	補正額 (充用額)	最終 予算額	支出済額	予算残額	執行率
1 総務費	183,697	0	183,697	155,246	28,451	84.5
2 保険給付費	5,421,788	0	5,421,788	4,596,884	824,904	84.8
3 国民健康保険事業費納付金	2,279,144	0	2,279,144	2,279,144	0	100.0
5 保健事業費	114,220	0	114,220	80,830	33,390	70.8
6 基金積立金	10	0	10	0	10	0.0
7 諸支出金	116,635	0	116,635	113,494	3,141	97.3
8 予備費	2,000	0	2,000	0	2,000	0.0
歳出合計	8,117,494	0	8,117,494	7,225,598	891,896	89.0

第5図 国民健康保険事業特別会計(歳入)

単位: 百万円

■最終予算額 □収入済額

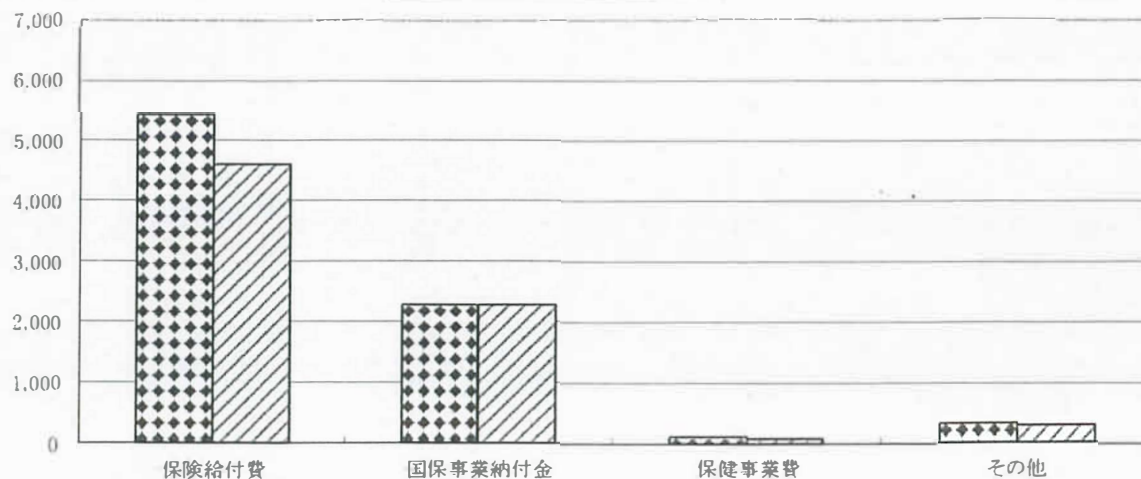


	国庫支出金	国保税	繰入金	都支出金	繰越金	その他
最終予算額	0	1,348	1,075	5,576	104	14
収入済額	14	1,298	1,043	4,712	104	21

国民健康保険事業特別会計(歳出)

単位: 百万円

■最終予算額 □支出済額



	保険給付費	国保事業納付金	保健事業費	その他
最終予算額	5,422	2,279	114	302
支出済額	4,597	2,279	81	269

第5表 駐車場事業特別会計執行状況

<歳入>

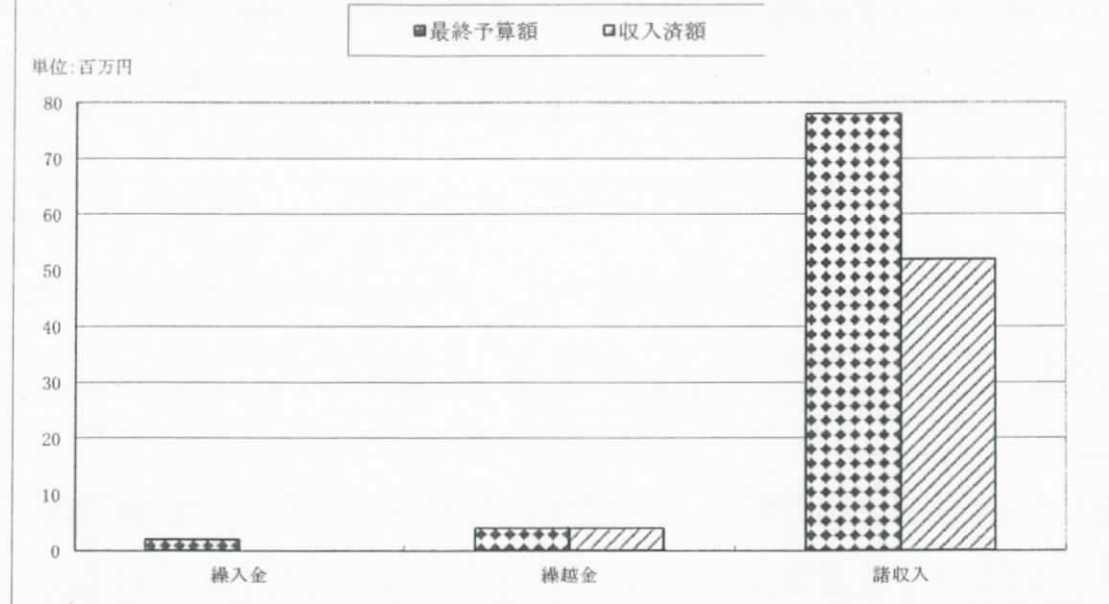
令和3年3月31日現在 (単位:千円、%)

款	9 月 末 予 算 現 額	補 正 額	最 予 算 終 額	収 入 済 額	予 算 と の 比 較	収 入 率
1 繰 入 金	0	2,148	2,148	0	▲ 2,148	0.0
2 繰 越 金	3,966	0	3,966	3,966	0	100.0
3 諸 収 入	78,000	0	78,000	52,000	▲ 26,000	66.7
歳 入 合 計	81,966	2,148	84,114	55,966	▲ 28,148	66.5

<歳出>

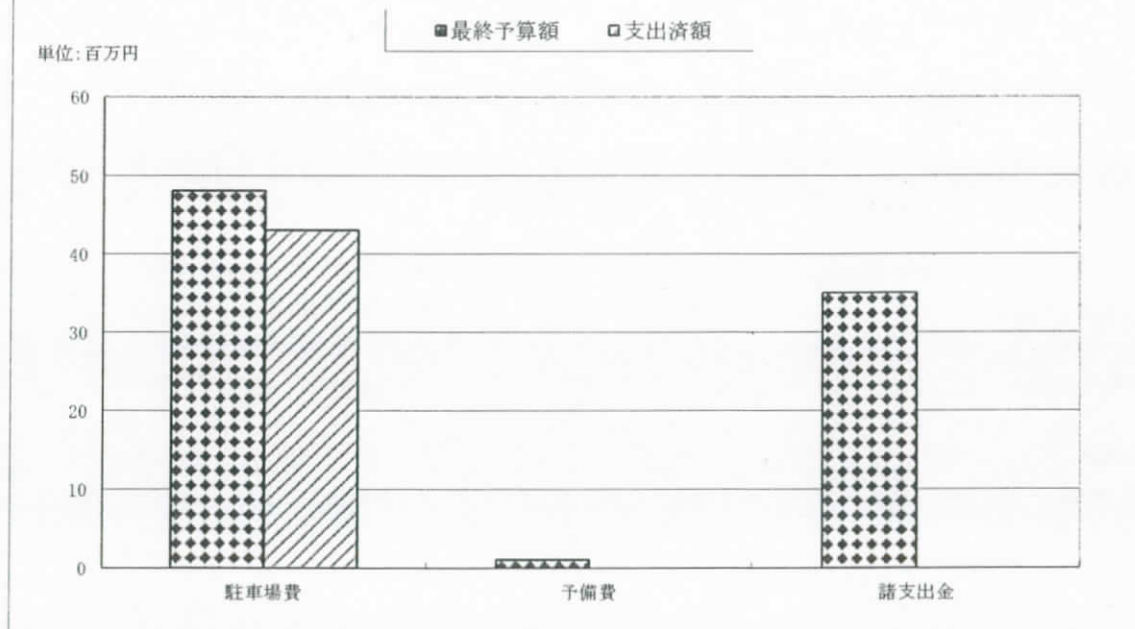
款	9 月 末 予 算 現 額	補 正 額 (充用額)	最 予 算 終 額	支 出 済 額	予 算 残 額	執 行 率
1 駐 車 場 費	46,000	2,148	48,148	43,189	4,959	89.7
3 予 備 費	1,000	0	1,000	0	1,000	0.0
4 諸 支 出 金	34,966	0	34,966	0	34,966	0.0
歳 出 合 計	81,966	2,148	84,114	43,189	40,925	51.3

第6図 駐車場事業特別会計(歳入)



	繰入金	繰越金	諸収入
最終予算額	2	4	78
収入済額	0	4	52

駐車場事業特別会計(歳出)



	駐車場費	予備費	諸支出金
最終予算額	48	1	35
支出済額	43	0	0

第6表 介護保険特別会計執行状況

<歳入>

令和3年3月31日現在 (単位:千円、%)

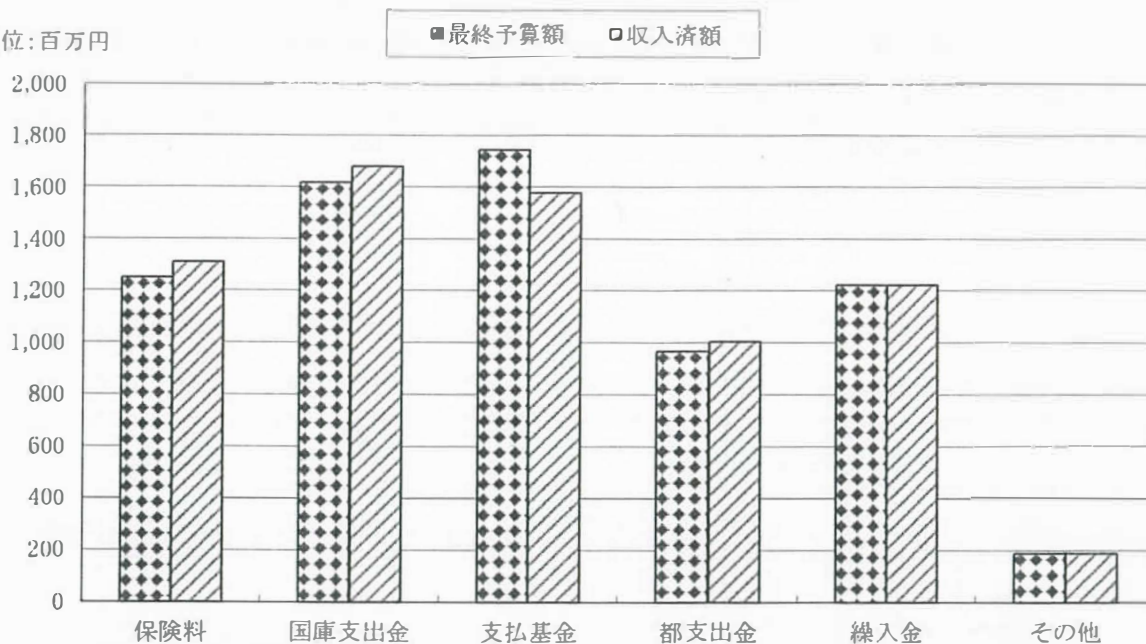
款	9 月 末 予 算 現 額	補 正 額	最 予 算 終 予 算 額	収 入 済 額	予 算 と の 比 較	収 入 率
1 保 険 料	1,250,785	0	1,250,785	1,309,468	58,683	104.7
2 国 庫 支 出 金	1,561,436	55,473	1,616,909	1,679,633	62,724	103.9
3 支 払 基 金 交 付 金	1,714,452	31,033	1,745,485	1,578,620	▲ 166,865	90.4
4 都 支 出 金	958,922	8,834	967,756	1,005,380	37,624	103.9
5 財 産 収 入	200	0	200	0	▲ 200	0.0
6 繰 入 金	1,202,386	19,597	1,221,983	1,221,982	▲ 1	100.0
7 諸 収 入	4	0	4	899	895	22,475.0
8 繰 越 金	188,494	0	188,494	188,495	1	100.0
歳 入 合 計	6,876,679	114,937	6,991,616	6,984,477	▲ 7,139	99.9

<歳出>

款	9 月 末 予 算 現 額	補 正 額 (充 用 額)	最 予 算 終 予 算 額	支 出 済 額	予 算 残 額	執 行 率
1 総 務 費	184,344	0	184,344	148,391	35,953	80.5
2 保 険 給 付 費	6,078,773	114,937	6,193,710	5,617,132	576,578	90.7
3 地 域 支 援 費 事 業 費	422,864	0	422,864	321,817	101,047	76.1
5 基 金 積 立 金	136,694	0	136,694	136,494	200	99.9
7 諸 支 出 金	53,004	0	53,004	38,673	14,331	73.0
8 予 備 費	1,000	0	1,000	0	1,000	0.0
歳 出 合 計	6,876,679	114,937	6,991,616	6,262,507	729,109	89.6

第7図 介護保険特別会計(歳入)

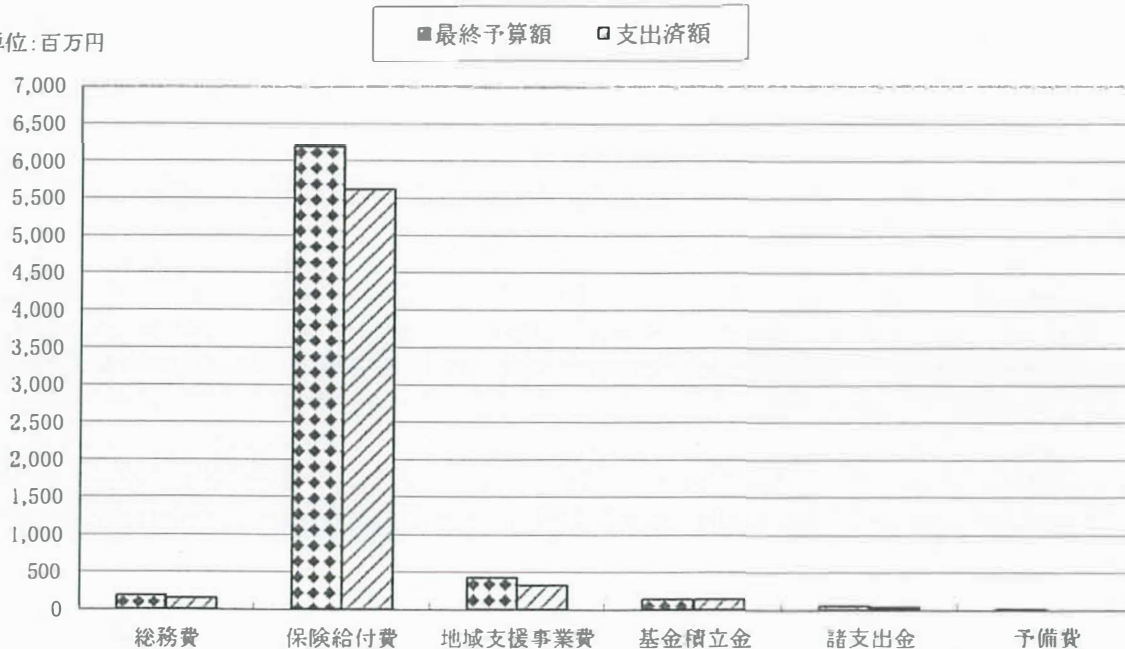
単位:百万円



	保 険 料	国庫支出金	支 払 基 金	都 支 出 金	繰 入 金	そ の 他
最終予算額	1,251	1,617	1,745	968	1,222	189
収入済額	1,309	1,680	1,579	1,005	1,222	189

介護保険特別会計(歳出)

単位:百万円



	総 務 費	保険給付費	地域支援事業費	基金積立金	諸支出金	予 備 費
最終予算額	184	6,194	423	137	53	1
支出済額	148	5,617	322	137	39	0

第7表 後期高齢者医療特別会計執行状況

<歳入>

令和3年3月31日現在 (単位:千円、%)

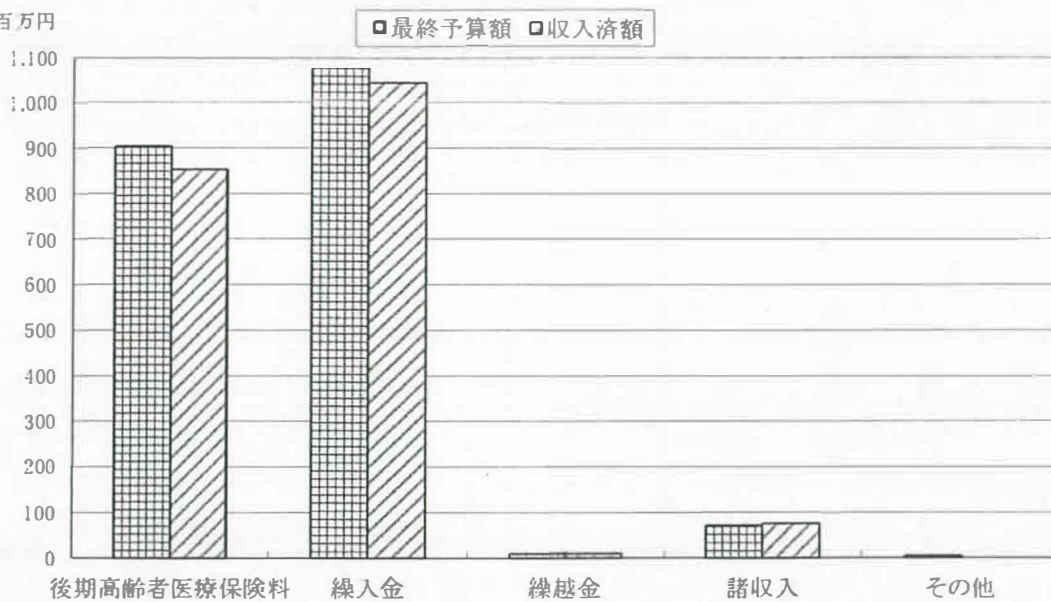
款	9月 末 予算 現額	補正 額	最 予 算 終 額	収入 済額	予算との 比較	収入率
1 後期高齢者医療保険料	903,363	0	903,363	852,068	▲ 51,295	94.3
2 使用料及び手数料	1	0	1	0	▲ 1	0.0
3 国庫支出金	3,529	0	3,529	154	▲ 3,375	4.4
4 繰入金	1,077,311	0	1,077,311	1,044,386	▲ 32,925	96.9
5 繰越金	9,740	0	9,740	9,739	▲ 1	100.0
6 諸収入	69,796	0	69,796	74,841	5,045	107.2
歳入合計	2,063,740	0	2,063,740	1,981,188	▲ 82,552	96.0

<歳出>

款	9月 末 予算 現額	補正 額 (充用額)	最 予 算 終 額	支出 済額	予算残額	執行率
1 総務費	38,885	770	39,655	32,327	7,328	81.5
2 広域連合納付金	1,909,509	0	1,909,509	1,849,034	60,475	96.8
3 保険事業費	102,106	0	102,106	87,421	14,685	85.6
4 諸支出金	12,240	0	12,240	11,822	418	96.6
5 予備費	1,000	△ 770	230	0	230	0.0
歳出合計	2,063,740	0	2,063,740	1,980,604	83,136	96.0

第8図 後期高齢者医療特別会計(歳入)

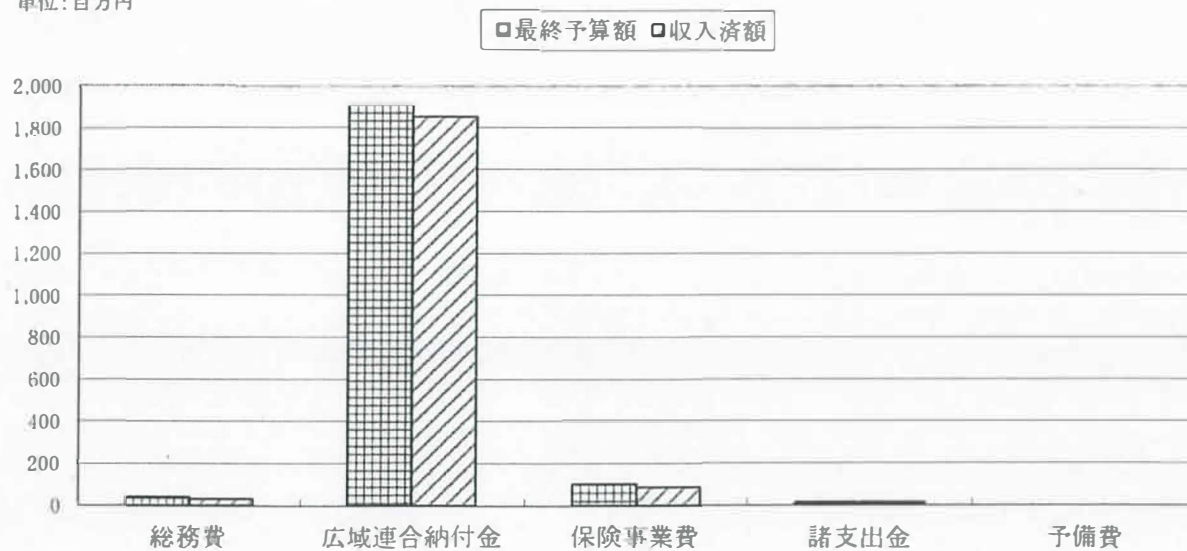
単位: 百万円



	後期高齢者医療保険料	繰入金	繰越金	諸収入	その他
最終予算額	903	1,077	10	70	4
収入済額	852	1,044	10	75	0

後期高齢者医療特別会計(歳出)

単位: 百万円



	総務費	広域連合納付金	保険事業費	諸支出金	予備費
最終予算額	40	1,910	102	12	0
収入済額	32	1,849	88	12	0

令和2年度下半期 清瀬市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和2年度の汚水処理の状況は、下水道使用料の算定基準となる有収水量が下半期で3,828,390立方メートル、年間で7,639,764立方メートルとなり、前年の7,408,437立方メートルに比べ、231,327立方メートル(3.1%)増加しました。

また、経理の状況では、収益的収支の収入で下水道使用料が基本料金減免措置の影響から下半期で419,695千円、年間で909,036千円(前年度比94.9%)となりましたが、一般会計からの繰入金による補填があったため、収入全体では前年度に比べ1.4%増の1,210,404千円となりました。

一方、支出では、流域下水道管理費が下半期で253,235千円、年間で334,925千円(前年度比97.5%)、公共下水道使用料徴収経費を含む総係費が下半期で69,228千円、年間で152,098千円(前年度比101.6%)となり、支出全体では前年度に比べ0.8%増の1,090,270千円となりました。

資本的収支は、前年と同様に大規模な建設工事が無かったことから、収入は前年度に比べ11.5%減の152,220千円、支出は前年度に比べ0.1%減の475,088千円となりました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

収 入

単位：千円

区分	予算額	下半期執行額	収入率	2年度決算額	収入率
営業収益	922,076	452,424	49.1%	942,001	102.2%
下水道使用料	889,231	419,695	47.2%	909,036	102.2%
雨水処理負担金	32,510	32,411	99.7%	32,411	99.7%
受託工事収益	33	0	0.0%	0	0.0%
その他営業収益	302	318	105.3%	554	183.4%
営業外収益	278,281	192,452	69.2%	268,403	96.5%
他会計負担金	104,854	95,491	91.1%	95,491	91.1%
補助金	21,525	18,544	86.2%	18,544	86.2%
長期借入金戻入	151,902	78,417	51.6%	154,368	101.6%
合計	1,200,357	644,876	53.7%	1,210,404	100.8%

支 出

単位：千円

区分	予算額	下半期執行額	執行率	2年度決算額	執行率
営業費用	1,051,136	643,239	61.2%	1,020,839	97.1%
管渠費	119,904	98,879	82.5%	100,929	84.2%
流域下水道管理費	334,925	253,235	75.6%	334,925	100.0%
総係費	152,098	69,228	45.5%	140,984	92.7%
減価償却費	444,209	221,897	50.0%	444,001	99.9%
営業外費用	84,037	48,792	58.1%	69,294	82.5%
支払利息	44,037	18,725	42.5%	39,227	89.1%
消費税及び地方消費税	40,000	30,067	75.2%	30,067	75.2%
特別損失	200	0	0.0%	137	68.5%
過年度損益修正損	200	0	0.0%	137	68.5%
予備費	1,000	0	0.0%	0	0.0%
予備費	1,000	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,136,373	692,031	60.9%	1,090,270	95.9%

※ 予算額には目間流用を含む

(2) 資本的収支の状況

収 入

単位：千円

区分	予算額	下半期執行額	収入率	2年度決算額	収入率
企業債	153,900	93,900	61.0%	93,900	61.0%
企業債	153,900	93,900	61.0%	93,900	61.0%
他会計出資金	60,738	54,796	90.2%	54,796	90.2%
他会計出資金	60,738	54,796	90.2%	54,796	90.2%
負担金等	3,044	0	0.0%	3,524	115.8%
受益者負担金	3,044	0	0.0%	3,524	115.8%
合計	217,682	148,696	68.3%	152,220	69.9%

支 出

単位：千円

区分	予算額	下半期執行額	執行率	2年度決算額	執行率
建設改良費	229,629	121,434	52.9%	157,984	68.8%
管渠建設改良費	153,460	85,376	55.6%	121,220	79.0%
荒川右岸東京流域下水道建設負担金	76,169	36,058	47.3%	36,764	48.3%
企業債償還金	317,977	160,969	50.6%	317,104	99.7%
企業債償還金	317,977	160,969	50.6%	317,104	99.7%
合計	547,606	282,403	51.6%	475,088	86.8%

3. 地方債現在高

地方債は、道路や学校、下水道、公園等の公共施設を建設するための財源として、市が国や東京都、金融機関等から借りて、長期にわたって返済するものです。

このことは、各種の公共施設を後年にわたって広く市民の皆様にご利用いただくとともに、後の世代にも建設費等の返済の一部を負担していただくという考えに基づいて借り入れるものです。

令和2年度末の地方債の現在高は、一般会計が20,562,128千円、下水道事業特別会計が3,172,270千円で総額23,734,398千円となっています。詳細は第8表のとおりです。

第8表 地方債の状況

(単位:千円)						
会 計	令 和 2 年 9 月	令 和 2 年 度	令和2年度下半期元利償還金			令 和 2 年 度 末 現 在 高 (A+B-C)
	現 在 高 A	下 半 期 発 行 額 B	元 金 C	利 子 D	計 (C+D)	
一 般 会 計	19,106,054	3,275,000	1,825,326	88,181	1,913,507	20,555,728
下 水 道 特 別 会 計	3,239,338	93,900	160,968	18,724	179,692	3,172,270
合 計	22,345,392	3,368,900	1,986,294	106,905	2,093,199	23,727,998

4. 一時借入金

一時借入金は、歳出予算内の支出現金の一時的な不足を補うために調達される資金で、いわば資金繰りのために認められた調達手段です。

この借入限度額は、予算で定めなければならない、当該年度の歳入をもって返済しなければならないことから「収入」とはされません。

なお、令和2年9月末現在高はありませんが、新たに10月から3月までの下半期には25億円の一時借入金を行っており、3月末現在高も25億円となっております。

5. 市有財産

市が所有している財産は、公有財産、物品、債権及び基金の4種類に分けられます。市民の皆様にご利用いただいている公園や学校等は公有財産であり、奨学資金などといった貸付金は債権にあたります。令和3年3月31日現在における主な市有財産の状況は下記(1)～(3)のとおりです。

(1) 土地・建物の保有状況

令和3年3月31日現在			(単位: m ²)
区 分	土 地	建 物	
本 庁 舎	9,369.54	10,401.51	
市民・健康・福祉センター等	38,500.18	23,231.39	
学 校	202,418.95	82,636.41	
公 園 ・ 緑 地	117,215.35	129.56	
運 動 場 等	7,344.07	622.02	
図 書 館	2,096.82	2,539.44	
老 人 い こ い の 家	1,098.18	708.82	
防 災 施 設	1,904.19	591.58	
市 営 住 宅	14,007.33	7,434.09	
社 会 教 育 施 設	30,512.21	15,974.99	
保 育 園	8,075.92	4,167.75	
市 営 駐 輪 場	133.44	8,218.68	
自 転 車 置 場	0.00	89.16	
そ の 他 施 設	1,471.09	145.77	
普 通 財 産	10,131.26	0.00	
合 計	444,278.53	156,891.17	

(2) 貸付金の状況

(単位: 千円)			
令和元年度末 現在高 a	令和2年度(3月末まで) 貸付額 b	令和2年度(3月末まで) 返還額 c	令和3年3月末現在 貸付残高 a + b - c
29,258	46,423	2,204	73,477

(3) 基金の状況

令和3年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	1,274,889
減 債 基 金	609
公 共 施 設 整 備 基 金	1,723,826
緑 地 保 全 基 金	219,241
教 育 基 金	127,925
まちづくり応援基金	15,167
新型コロナウイルス感 染 症 対 策 基 金	132,311
国 保 運 営 基 金	4,835
介護給付費準備基金	597,331
合 計	4,096,134

むすび

以上で、令和2年度下半期の財政状況についての報告を終わります。

清瀬市では、厳しい財政状況を乗りきるべく、今後も収入面においては安定した財源確保に努め、支出面においては徹底した経費の見直し・節減を図る一方で、できる限り市民の皆様のご意見やご要望を市政に反映させ、積極的に各事業の充実・展開を図り、市民生活の安定とより住み良い環境をめざして努力してまいります。

これからも、市民の皆様の市政に対するより一層の理解とご協力をお願いいたします。